

### 第6回同志社校友会大懇親会レポート

山崎 真

今年3月16日、国立京都国際会館で開催された第6回同志社校友会大懇親会へ、幹事6名で参加してきました。大懇親会は3部構成で行われ、交流会では北陸支部ブロックの会員をはじめとした校友の方々と交流し、楽しい一時を過ごしました。



#### <大懇親会3部構成>

第1部 井上礼之校友会会長の開会挨拶、松岡敬学長による講演

第2部 大学と女子大学の現役・OBによる音楽演奏

第3部 交流会

大懇親会の前後、土曜午前には梅小路公園内の京都鉄道博物館を、日曜午前は滋賀県の石山寺と三井寺を訪れました。日曜午後は比叡山坂本ケーブルカーに乗る予定でしたが、三井寺訪問後、昼食に立ち寄ったお店で京都の日本酒を呑んだら時間超過のため予定変更となり、京都市内へ戻ることとなりました。昼食時には、京都市内へ戻って出町柳の出町ふたばへ豆大福を買いに行こうと話したのですが、急な思い付きにより御陵

#### ◆編集後記

同志社校友会大懇親会に参加して思ったことがあります。

「同志社の校友という縁で、幹事6人と共に京都に行けたことは幸せだ」ということです。私も校友も皆、体内のどこかに京都・同志社への強い思いがあるから、そのように思うのかも知れません。

さて、今ご覧になっている【同志社新潟】校友会・同窓会会報は、平成20(2008)年6月に第1号が発行され、11年が経過しました。創刊号最初の編集会議では不安を抱えながらの出航でありました。昨日の事のように思い出されます。

駅で電車を降り、天智天皇陵を訪れました。結局出町ふたばに立ち寄る時間はなく、御陵駅からそのまま伊丹空港へ向かいました。

このように予定変更が重なりましたが、河端支部長と荒沢さんの健脚に驚くと共に、先輩方と楽しく過ごせたよい旅でした。(1994年 商学部卒)



### 「同志社フェアIN富山」のご案内

今井 誠

「同志社フェア」は、地域との交流を目的に、2011年より新島裏にゆかりのある函館、安中等において開催されてきましたが、昨年からゆかりの地に限定せず、浜松、広島で開催されております。

今年の「同志社フェア」は、ご案内に同封しましたチラシの通り、富山市で開催される事となりましたのでご案内いたします。我々新潟県支部は富山、福井、石川と共に「北陸・新潟ブロック」として活動しておりますので、ブロックの一員としてこの「同志社フェアIN富山」を盛り上げたいと考えております。

昨年上越市で開催された、明治大学とのラグビー定期戦の応援の時と同様に、バスをチャーターする事も検討しておりますので、参加を希望される方は事務局まで連絡をお願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております。(1975年 法学部卒)

これまで多くの校友、同窓の皆さまより寄稿をいただき、令和元(2019)年6月に第12号まで漕ぎ着けることができました。これから10年先を見越して、同志社校友会・同窓会新潟県支部が、次の世代の校友によって脈々と引き継がれていられることを願っています。

新島裏が一学生に宛てた手紙の中に、「良心の全身に充満したる丈夫(ますらお)の起り来(きた)らんことを」の一節があります。良心が全身に充満した青年が現れることを望んでやまないという意味です。

今、私も、まさにそのような思いです。(市川)

## 同志社 新潟

DOSHISHA NIIGATA

同志社校友会新潟県支部 同志社同窓会新潟支部(女子部)  
発行人 河端信雄・山本もろみ  
事務局 新潟プレハブ工業(株)内 市川清  
〒950-0911 新潟市中央区笹口2-29 TEL 025(247)7117  
Eメール: info@niigata.doshisha-alumni.org



2018年度 同志社新潟のつどい (6月9日新潟市・新潟グランドホテル)

### 2018年度同志社新潟のつどいを開催

「2018年度同志社新潟のつどい」が6月9日、新潟市内の新潟グランドホテルにおいて大学校友会・女子大同窓会員43名のほか、大学側から横川副学長をはじめ3名、校友会の長谷川副会長並びに富山県支部の坂本支部長の5名を来賓にお迎えして開催されました。

総会は校友会の河端支部長及び同窓会の山本支部長の挨拶で始まり、この中で河端支部長からは、同志社創立150周年に向けたビジョン推進への「ALL DOSHISHA 募金」の紹介とあわせて2020年の支部創設80周年を記念する事業の具体化に向けて会員の皆様からの積極的な参加と協力の要請がありました。総会ではこれに続く事業や会計報告などの議事を審議し、すべてが承認されました。

引き続き式典では、横川副学長から2025年の大学

創立150周年に向けた「同志社大学ビジョン2025」と題してご講演をいただきました。この中で副学長からは、文理融合を目指す14学部を有する総合大学として研究開発分野における数々の成果や特許料の伸びなど最近の大学の活気あふれる現況について報告をいただきました。そして、若き新島裏の志を受け継ぐ新たな6つのビジョン「ALL DOSHISHA」の下、学生、教員、校友が一体となった弛まぬ創造と挑戦により、この国を、そして世界をリードしていく人材の育成に取り組んでいきたいとの力強いお話がありました。続いて女子大学の川村学生支援部参与からは、6学部11学科を有する女子総合大学として2026年の創立150周年に向けた「Vision150」を策定し、豊かな社会づくりに貢献できる女性を育むために日々挑戦を続けている大学の現況をお話していただきました。

続いての懇親会では、校友会の長谷川副会長が挨拶に立ち、創立150周年を目指して校友会本部と各支部との連携を更に深め、「ALL DOSHISHA」として更なる発展に取り組みたいと話をされました。



### 私の幼年期

田中 正栄



昭和25年元旦生まれなので大概は24年生まれの方々と一緒です。最近お亡くなりになった堺屋太一氏が名付けた所謂「団塊の世代」の末端に位置しております。

「かきねの かきねの まがりかど  
たきびだ たきびだ おちばだき  
あたらうか あたらうよ  
きたかぜ ピイ プウ ふいている」  
(童謡 たき火)

だるまストーブのまわりには綺麗に拭かれた下駄箱、沢山の弁当箱が乗っかっています。梅干しに塩鱈、ピンク色のでんぶなど、おかずは違って暖かな気持ちはみんな一緒、食べ終わると、お昼寝、蓄音機から流れるシューマンの「トロイメライ」を聴きながら夢見心地になるのです。家は農家なので祖母と夕方は留守番。ある日、外のボツ

トン便所(エンコジャ)に片足を落とし、泣き泣き、通船川にかかっていた柳橋を渡り、両親のもとへ辿り着きました。夕焼け空が真っ赤で夕飯の煙がたなびき、ラジオからは「一丁目一番地」の主題歌が流れてきました。

新潟大火のときは保育園の年長組。台風の影響もあり、黒ずんで焼け焦げた小さな紙のきれはじが自宅付近まで飛んできたことを覚えています。バスの便は悪く新潟



写真中央が田中氏

大学農学部前が終点でした。花火の好きな祖母は、通船川を走って信濃川へ抜ける「あんこう丸」というポンポン蒸気船で私を東湊町の親戚に連れて行き、豊照小学校の屋上から新潟祭りの大花火を見ました。

私が通ったのは村のお寺が経営する保育園でしたが、クリスマスにサンタクロースがプレゼントを配ってくれました。昭和20年代末の話です。今思うと粋なことをしてくれたと思います。  
(1972年 文学部文化学科卒)

### 子ども食堂のこと

神部 律子



私がスタッフとして関わる子ども食堂「にしっこ食堂」は、西区新通の護国寺を会場として、2016年9月から始まりました。

「子どもの貧困」については数年前からテレビや新聞で盛んに報道されましたが、この時代に？と違和感を持ったのがその頃の正直な気持ちでした。でも講演会や新聞報道などで非正規雇用やリストラ、ひとり親など大人の不安定な状況と、立場の弱い子どもがいることを知りました。私にも何かできることはないかと思っていたら、一緒に子ども食堂をやらないかと誘われ実行委員会に入れて貰いました。

どんな子ども食堂にするか話し合い、運営体制、会場探し、資金集め、ボランティアの募集など、大忙しで開設を迎えました。第1回目、ドキドキでしたが参加者118名と大盛況！それからもどんどん大きくなり2年後は300人を超えることも。日本一大きい子ども

食堂らしいです。

2年半スタッフとして関わってきて思うことは、子ども達(大人もですが)は弱い部分は決して人に知られたくないこと。誰でもおいで一緒にご飯食べようよ、とハードルを低くしたことで多くの人たちが参加してくれます。カレンダーに給食の日と書いて楽しみにしている子もいるそうです。

高校生大学生のボランティアもたくさん来てくれて、一度来ると子ども達に慕われたり、おばさんたちに褒められたり、居心地の良さにはまっているようです。「ここに来た人たちはみんな家族」。そんな温かさがこの時代に求められているのでは。

調理担当の私はご寄付頂いた食材を無駄にすることなくメニューを考え、来てくれた人たちの笑顔を支えたいと思っています。  
(1977年 家政学部卒)



### 躍動する同志社大学へ～VISION2025～

富永 広紀

かつて新島襄は勝海舟に、「自ら思い描く大学の実現に200年を要する」と語りました。創立150周年となる2025年は、次の50年への通過点として大きな節目です。これを機に、脈々と受け継がれてきた「良心教育」を根幹とする理想の大学の結実に向けて「同志社大学 VISION 2025」が策定されたのは、皆様もご存じのとおりです。

特設ホームページでは、6つのビジョンにまつわる最新情報をはじめ、対談インタビューや動画などコンテンツが盛り沢山。現役の学生や関係者だけでなく、私たちのような校友、あるいは今後入学しようという高校生や父兄の方まで、幅広く同志社のビジョンを共有できる貴重な場となっています。ぜひご覧になってみてください。



【特設ホームページ】 <http://doshisha-vision2025.jp/>

幕末、まだ次の国家の姿も未来もまっさらだった時代。弱冠21歳の新島は、大海に向かって飛び出しました。自ら人生の舵を握り、未来を描いていく人生の始まりでした。現代もまた、「先の見えない時代」といわれています。それは不安の時代であり、逆に言えば、自由に未来を描ける時代でもあります。若き新島が乗り込んだワイルド・ローヴァー号ならぬ「ALL DOSHISHA」の新たな船出の時。ビジョンを一人ひとりの胸に、漕ぎ出してまいりましょう。

特設ホームページでは、ビジョン推進のための寄付が募られていますので、関心のある方はご確認ください。

寄付と聞いて思い出されるのは、新島になけなしの2ドルを差し出した老農夫のこと。1874年、アメリカはバーモント州のグレイス教会で、「母国にキリスト教主義の学校を作りたい」と涙ながらに訴えた異国の青年に、その老農夫は帰り道の汽車賃を手渡し、その後は夜通し歩いて帰ったと言いつづられています。大切なのは金額ではありません。「後進のために何ができるか」を考える良心ではないでしょうか。先人たちが、私たちのことを考えてくれたように。(1998年 文学部卒)

2018年度 会計報告 (2018年4月～2019年3月)

単位:円

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	722,213	会報 第11号 印刷 デザイン	21,600 20,000
年会費	174,000	事務 振込手数料 同志社新潟のつどい案内 総費	6,750 51,522 11,880
総会 総会・懇親会参加費 二次会参加費 お祝い金	215,000 45,000 50,000	懇親会・二次会 来賓土産代	292,000 20,000
助成金 支部活動助成金 校友会 上越ラグビー支援金	143,500 250,000	会議 幹事会 会報編集会議	72,500 3,300
諸活動 上越ラグビー参加費 同窓会ケーキレッスン	67,640 13,200	諸活動 校友会富山県支部総会 上越ラグビー協賛金他 同窓会ケーキ会場費他	10,686 248,164 25,584
		次年度繰越金	896,567
合計	1,680,553	合計	1,680,553

\*2019年度総会にて報告予定

### はじめまして



宮毛二朗さん サントリー酒類(株) 新潟支店長  
(1991年 文学部卒)  
京都生まれ奈良育ちで、同志社国際高校から同志社ファミリーです。高校・大学・社でラグビー部に所属していました。卒業後は東京と新潟勤務が長く、昨年5年ぶりに新潟に戻ってきました。



佐藤将人さん サンリーブ(株) 酒類担当部長  
(1991年 文学部卒)  
亀田町出身です。学生時代は毎朝、每晚石山寺を見ながら瀬田川に艇を下ろしオールを引いていました。瀬田の唐橋を渡り、同志社に通った日々は懐かしく、滋賀、京都は私の第二の故郷です。



小栗巧さん サントリー酒類(株) 営業担当部長  
(1994年 文学部卒)  
岐阜県出身で、昨年、新潟に赴任してきました。大学時代は、体育会柔道部に所属しており、練習と授業で「田辺」と「今出川」を行ったり来たりしていた日々が懐かしいです。よろしくお願いします。



木村章男さん(株) 秋田銀行 新潟支店  
(2006年 法学部法律学科卒)  
昨年度、新潟支店に転勤して参りました。諸先輩方が盛り上げていらっしゃる本会への参加を大変光栄に思います。新潟での生活は初めてですが、皆さんとの出会いを楽しみにしております。



鈴木孝男さん 新潟食料農業大学 教授  
(2012年 総合政策科学研究科卒)  
昨年開学した大学に赴任するため新潟に参りました。田舎の地域づくりを専門としておりますので、同志社で学んだことを活かして地元を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



松本祥さん 三井住友海上あいおい生命(株) 新潟生保支社  
(2012年 経済学部卒)  
昨年12月に新潟に赴任しました。近年稀にみる雪の少ない冬のことですが、愛媛県出身の私には大雪でした(笑)。今まで関西と関東が多かったため、初の甲信越を楽しみたいと思っています。



谷奈奈美さん 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 新潟支店  
(2018年 法学部法律学科卒)  
2018年5月より新潟に赴任して参りました。大阪府吹田市の出身です。同志社OB・OGの皆様の温かいお心遣いと、新潟の美味しい食べ物のお陰で、楽しく社会生活を送っております。